

こんなメリットもあります！

カビ対策も できる

カビ・ダニ抑制、健康的な住環境の維持、メンテナンスコストの削減につながるというメリットがあります。

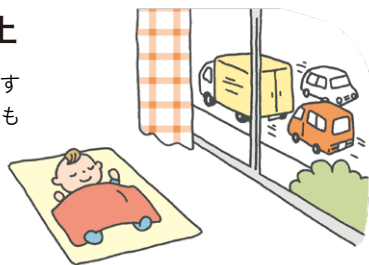


明るさと プライバシーを 両立

日中、外から室内が見えにくいため、プライバシーの確保につながり、カーテンなしでも明るさを保てます。

防音性の向上

防音に配慮した窓にすることで、騒音の悩みも軽減できます。



入居者に聞きました！

開放感のある快適な暮らしになりました！

神奈川県在住・Kさん

以前は隙間風が気になっていましたが、窓の改修後は暖かく過ごせており、外からの音も静かになった気がします。

また、以前の窓にあった横桟（よこざん）がなくなり、部屋が明るく広くなったように感じられ、景色もクリアに見えて開放的です。

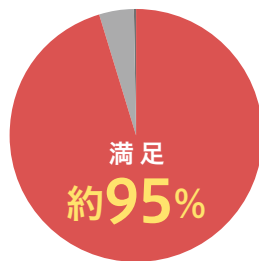
さらに、高性能な複層ガラスのおかげで、日中は外から部屋の中が見えにくく、プライバシーが保てるので安心感があります。



手軽に実施可能＆満足度も非常に高い 窓断熱リフォーム！

窓の断熱リフォームを実施した
消費者の約**95%**が、『満足*』と答えています。

※先進的窓リノベ2024事業を活用した消費者向けの調査（環境省実施）の結果による。



冬の窓辺も快適になった／西陽がやわらいだ／空調の効きが良くなった／防音効果が高まり静かになった／電気代が下がった・・・など、**快適性向上・省エネ効果**を実感する声が多く寄せられました。

先進的窓リノベ2025事業



先進的窓リノベ
2025事業

概要	高い断熱性能を持つ窓への改修に関する費用の1/2相当等を定額補助（上限200万円）
対象者	令和6年11月22日以降に「リフォーム工事」に着手した方
受付期間	令和7年3月下旬～予算上限に達するまで（遅くとも令和7年12月31日まで） ※申請（一括）は5月30日開始予定。

集中支援期間の
最終年です！

先進的窓リノベ2025事業事務局サイト
<https://window-renovation2025.env.go.jp/>



環境省では、窓の断熱改修を含め、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を進めています。詳しくはこちら。



分譲マンションに
お住まいの方必見！

分譲

集合住宅の

窓断熱 リフォーム のメリット！

熱中症・カビ対策編

今なら補助金*
あります

*先進的
窓リノベ
事業など

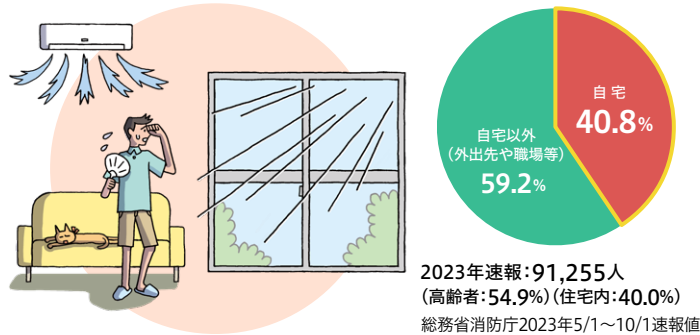


環境省
Ministry of the Environment

窓リノベで、熱中症・カビ対策！ 快適な住まいへ

熱中症救急搬送の4割は住宅内！

救急搬送される熱中症患者の約4割は、
屋外ではなく自宅で発生しているというデータがあります。
家庭内でも油断せず熱中症対策を講じることが重要です。



窓断熱リフォームを実施すると

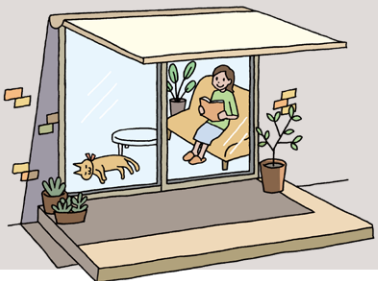
窓の断熱性能を高めることで熱の流入を抑え、屋内の快適性を維持しやすくなります。冷房効率も向上するので、省エネを実現しながら熱中症対策を図ることが出来ます。



更に
効果UP！

窓断熱リフォーム×シェード・すだれ

窓の断熱リフォームに加え、シェード(オーニング)、すだれなど日射遮熱対策を併用すると、さらに省エネで快適な暮らしが実現できます。



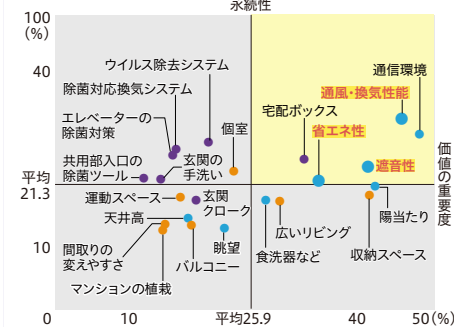
MINI COLUMN



株式会社リクルート SUUMO編集長
池本 洋一氏

コロナ禍以降、住まいに対する見方が変わったという調査結果があります。グラフの縦軸は「永続性」を、横軸は「価値の重要度」を示しています。「通風・換気性能」「省エネ性」「遮音性」というキーワードは、図の右上ゾーンに位置しており、ニューノーマル(新たな常識)となっております。既存マンションの窓断熱リフォームは、まさにこれからの時代に求められる価値観に沿っているといえるでしょう。

【新築分譲マンション】住宅設備の永続性×価値の重要度 (新築分譲マンション検討者/各単一回答)



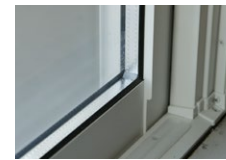
●基本性能・快適性 出典: リクルート「新築分譲マンション・戸建て商品ニーズ調査」(2021年3月)を元に作成
●スペース
●除菌・非接触

先進的窓リノベ事業を
活用して

窓断熱リフォームを実施した 管理組合の方や事業者と話しました！

補助金を上手く活用し、
より住みやすい環境に！

管理組合 加藤さん



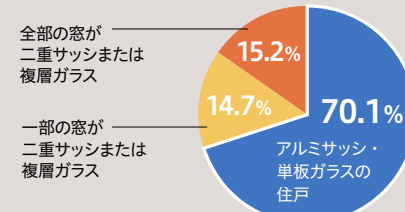
主居室の南側に内窓設置

地建設から40年が経ち、窓枠サッシの老朽化も進んできたことから、専門委員会を立ち上げ、更新工事の検討を始めました。当初は資金面からアルミサッシでの改修を考えたが、「先進的窓リノベ事業」の補助金が活用できたことから、より断熱効果の高いアルミ樹脂複合サッシでの更新に計画を変更しました。その後、組合総会の承認のもと、13棟362戸のすべての住戸で外窓交換を行いました。

改修により、窓の中央の桟(さん)がなくなり、明るく開放的な室内になりました。また、隙間風も減り、特に冬場の断熱効果を実感しています。

今後も住戸の価値を下げないよう、居住者の住みやすい環境をつくってまいります。

窓断熱リフォームは、光熱費の削減につながります！



日本の住宅の約7割は
窓断熱がない住戸!!



窓断熱リフォームを実施すると、
光熱費の削減が期待できます！

妻住戸 (住棟の端にある住戸) 約2万円/年
中住戸 (間を他の住戸に挟まれた住戸) 約1万円/年

窓断熱リフォームを行った事例動画もぜひご覧ください。



環境省 youtube チャンネル
「先進的窓リノベ 2024 事業活用セミナー」
特集動画②(分譲集合住宅編)

【試算条件】

- ・延床面積70㎡の3LDK、地域区分6(主に関東～九州等)・無断熱の集合住宅において、グレードSの窓(熱貫流率Uw=1.5)への窓断熱リフォームを実施した際の光熱費削減効果について、WEBプログラム(住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム)により試算したものです(電気代は東京電力及び東京ガスの2023年3月時点の料金表を用いて計算)
- ・上記の結果は、延床面積や地域区分、電力会社の契約内容や料金の変更等により変動しますので、目安としてご活用ください。
- ・試算の詳細及び他の条件による試算結果などは、「先進的窓リノベ2025情報ステーション」のウェブサイトからご確認ください。
(<http://madorinobe2025-info.jp/>)

補助金が活用できる
今がチャンス！

リフォーム事業者 織多さん、
増田さん



分譲集合住宅の窓は共用部分にあたるため、外窓改修をする場合は管理組合員の合意を得る必要があります。

さらに、改修の際には住民の積立による修繕積立金を使うことになるため、より多くの住戸で改修することが求められます。多くの住戸で改修することで、建物全体での資産価値の向上にもつながることができます。

外窓改修は築30年前後の建物が適齢期といわれていますが、「先進的窓リノベ事業」が活用できる今が改修の良い機会だと思います。

補助金の交付申請の際には、まとめて申請できる一括申請が大変便利です。